

ナシの摘果（間引き）始まる

～果樹シリーズ②～

3年生生産科学系列の「果樹」の授業では、5月2日（月）から本格的にナシの摘果（間引き）実習が始まりました。本校ナシ園には、「長寿」・「新水」・「幸水」・「豊水」・「新興」の5品種があります。4月の開花から、受粉・受精を経て、幼果がたくさん育っています。そのままにしておくと、数ばかりが多くなり、良品生産ができないため、一つ一つ丹念に摘果（間引き）作業をしています。

具体的には、一つの果房（果そう）には7～8個の花が咲き、幼果ができますが、場所・形が最も良く、病害虫に侵されておらず、キズがなく将来性のある1果に絞っていきます。更にはその3～4果から1果にします。根気のいる作業ですが、11名で頑張っています。合計6～8時間の実習を予定しています。

